



創立115周年を迎えて ～社会とともにある大学の歴史的系譜～

2023年3月5日

総長特別補佐（広報・記念事業担当）

東北大学史料館准教授

加藤諭



1936年
25周年

1957年
50周年

2007年
100周年

1907 1911 1922 1936 1949 1958 1991 2004 2011 2022

東北帝国大学の誕生

理科大学からのスタート

学風の形成（研究第一主義）

学風の形成（門戸開放）

法文学部の設置（名実ともに総合大学へ）

研究所大学

戦後復興と新制東北大学

川内・青葉山地区への移転

大学改革の動き

大学設置基準の大綱化

学風の形成（実学尊重）

国立大学法人化

東日本大震災と復興

指定国立大学法人



(1) 東北帝国大学の誕生

3

- ▶ 東北大学は、東京・京都に続く国内3番目の大学「東北帝国大学」として、1907年6月に創設
- ▶ 仙台でも熱心な誘致運動⇔政府の財政難
- ▶ 古河家と宮城県の寄附金によって実現

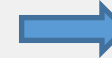




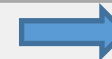
(1) 東北帝国大学の誕生

4

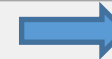
大学	創設年	分科大学/学部
東京	1886	法・医・工・文・理・農・経
京都	1897	理・工・法・医・文・経・農
東北	1907	農（1918年移管）
	1911	理
	1915	医
	1919	工
	1922	法文
九州	1911	工・医（京都帝大より移管）・農・法文・理
北海道	1918	農（東北帝大より移管）
大阪	1931	医・理・工
名古屋	1939	医・理工



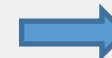
1877年の創設年
(東京大学)



1876年を創基 (札幌農学校)



1838年を創基 (適塾)



1871年を創基 (名古屋県仮病院・
仮医学校)



(2) 東北帝国大学創設運動

5

- ▶ 1906年、西園寺公望内閣（立憲政友会）
- ▶ 東京、京都に続く第3の帝国大学を！
- ▶ 日露戦争・・・賠償金は得られず
- ▶ ⇔戦後の財政難
- ▶ 1906年度予算約5億円・・・公債発行額12億8000万円
- ▶ 地元や民間からの支援なくして大学創設は難しい現状





(2) 東北帝国大学創設運動

- ▶ 1906年10月中旬
- ▶ 宮城県は東北帝国大学創設に10万円の寄附を申請
⇒文部省としては、大蔵省説得の隠し玉の1つ
- ▶ 1906年11月17日
- ▶ 牧野伸顯文部大臣が原敬内務大臣に相談
⇒原敬が提案したのが、古河家からの寄付
- ▶ 原敬は1906年1月まで古河合名会社副社長
- ▶ 内務大臣になって以降も、古河家の相談役

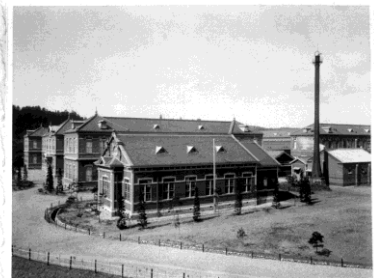




(2) 東北帝国大学創設運動

7

- ▶ 当時古河財閥・・・足尾銅山鉍毒事件で社会から厳しい批判
→原敬は世論を和らげる一策として「公共的献費」を求め、
古河家は、大学創設に総額105万円の寄附を受諾
→創設構想を救済し、実現させたのが古河家の寄附
- ▶ 内訳・・・九州帝国大学工科大学（約60万円）
東北帝国大学理科大学（約24万円）
東北帝国大学農科大学（約14万円）
その他事務経費（約7万）



⇒民間との密接な関係性・・・社会とともに歩む東北大学





(3) 学風の形成

8

- ▶ 初代総長の澤柳政太郎

→優れた学術研究による社会貢献を学風に掲げる



- ▶ 欧米科学界で留學生活を送った理科大学の教授たちが、
仙台から世界に数多くの研究成果を発信

- ▶ 「研究第一主義」の理念形成



1908年
小川正孝の元素ニッポニウム発表



1915年
臨時理化学研究所の設置



1922年
アインシュタインの来学



(3) 学風の形成

9

- ▶ 図書資料の充実と寄附
- ▶ 1911年、学内措置で東北帝国大学図書館設置
- ▶ 設置当初の所蔵数（12,938冊）
- ▶ 1912年、狩野文庫の購入
- ▶ 荒井泰治貴族院議員からの寄附（3万円、7万冊分）
- ▶ →澤柳政太郎総長が狩野亨吉、荒井泰治との仲立ち

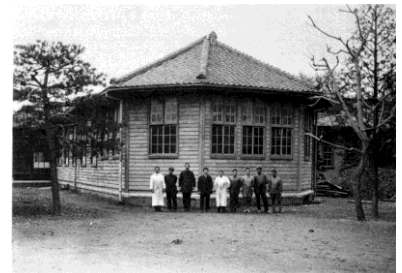


国宝：
類聚国史卷第二十五



- ▶ 臨時理化学研究所
- ▶ 1915年、塩原又策（三共株式会社専務取締役）から15000円の寄付を得て学内措置で設置
- ▶ 北條時敬総長

「唯一言自分ノ希望ヲ陳ヘンニ，他日該事業ガ一般事業ニ比シ利益多キモノニナリタル時ハ，其利益金ノ一部ヲ奨学資金トシテ東北大学ニ寄附セラレタキ事ニシテ学府ト実業界ト連絡シ，実業者ハ進ンデ学術研究上ノ資金ヲ学府ニ献シ，学者ハ実業者ニ助力シ以テ国富ノ増進ヲ図ル好模範ヲ出サンコトヲ望ム」





(3) 学風の形成

11

- ▶ 臨時理化学研究所～住友家から寄付を得て二部門制へ
- ▶ 第一部（化学）、第二部（物理学）～本多光太郎
- ▶ ※ K S 磁石鋼の発明（住友吉左衛門15代当主）
- ▶ 鉄鋼研究所・・・東北帝国大学附置研究所（東大以外では初）
→東京帝大は100%国庫
⇔東北帝大は設置費は民間、經常費は国庫と民間
- ▶ 金属材料研究所への改組後
- ▶ 実業家福澤桃介、神戸製鋼所、三菱造船、三菱製鉄、三菱鉱業、三菱内燃、義勇財団海防義会、斎藤報恩会、住友家、古河電気工業・住友金属工業、東北特殊鋼、東北金属工業等





女子への門戸開放だけではない

専門学校・師範学校への門戸開放

「傍系入学」による旧制高校以外の進学ルートの受け皿。

茅誠司・・・戦後東京大学総長

1920年東京高等工業学校（現、東京工業大学）から
→東北帝国大理学部物理学科へ入学



茅 誠司

留学生への門戸開放

魯迅・・・1904年に仙台医学専門学校へ留学。
仙台初の留学生→近代中国を代表する文学者・思想家。

陳建功・・・1920年に理学部数学科へ入学。
留学生として初の理学博士。後に杭州大学副学長に

蘇步青・・・1924年に理学部数学科へ入学。留学生として
日本で二番目の理学博士。後に復旦大学長となる。中国
近代数学創始者の一人。



魯迅



陳 建功



蘇 步青



(5) 斎藤報恩会と東北帝国大学

14

大正末期から昭和初期に片平キャンパスの整備・拡充



戦前の東北帝大年間研究予算
の1/3相当の助成規模

日本初の研究助成型財団
斎藤報恩会の研究助成



電気通信・低温・磁性な
どの基礎研究の進展

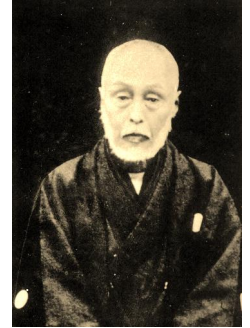


狩野文庫、ヴァント文庫な
ど東北大学の至宝集積





- ▶ 斎藤報恩会
- ▶ 1923年に、宮城県下の大地主斎藤家当主、九代目斎藤善右衛門有成が設立した財団法人
→日本初の本格的な学術助成型財団
- ▶ 報恩会事業
 - ▶ (1) 特定の学術研究所の設立及一般学術の研究に必要な設備並に研究費の補助
 - ▶ (2) 産業発達に必要な施設
 - ▶ (3) 国民思想の啓発善導及国家観念の涵養その他社会の幸福増進に必要な施設
- ▶ 斎藤善右衛門の寄附にかかる300万円を基本資金。この300万円の利子のうち6割を「学術研究」、「社会施設」と「産業発達」に2割ずつを宛てる方針





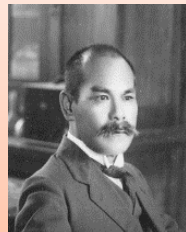
(5) 斎藤報恩会と東北帝国大学

16

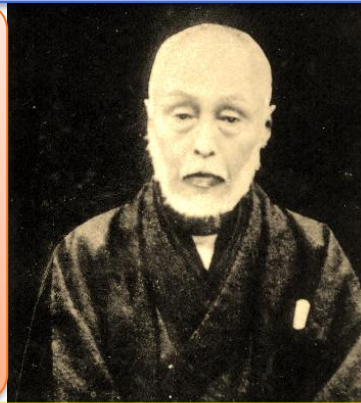
- 澤柳政太郎（元東北帝国大学総長）
斎藤善右衛門が財団法人設立に際し最初に相談した大学関係者



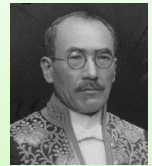
- 小川正孝
（東北帝国大学総長）



1921年頃に善右衛門の相談を受け、仙台に「学術研究所」を創ることを進言



- 井上仁吉
（工学部教授 のち総長）
実際の事業方針策定



→報恩会の事業に対する「意見書」
「大学その他適当の場所に各種の研究室を分設して」、「学識有識者」からなる評議員会の決定により研究費を補給するプランをとりまとめ

- 熊谷岱蔵
（医学部・内科学教授 のち総長）
報恩会の発足にあたり理事会・評議員会が設置されたが、評議員はその半数を東北帝国大学の教授が占めていた。





(5) 斎藤報恩会と東北帝国大学

17

1945年までの主な補助費

	研究題目	研究代表者	採用年	金額
1	電気を利用する通信法の研究	八木秀次 抜山平一 千葉茂太郎	1924～1929年	217000円
2	低温研究	本多光太郎 青山新一	1929～1931年	121900円
3	物質の磁性に関する研究	大久保準三 増本量	1932～1937年	81000円
4	本学に設置せらるべき農学研究所における冷害及雪害に関する研究	本多光太郎	1937～1939年	50000円
5	地形地物の地震動に及ぼす影響に関する研究	中村左衛門太郎	1924～1930年	46037円
6	西藏仏典の研究	宇井伯寿 鈴木宗忠 金倉円照	1925～1928年 1930～1931年 1933～1934年 1938年	42947円
7	原子及分子の構造に関する研究	大久保準三 高橋胖	1925～1927年	29000円
8	ヴント文庫購入寄附	佐藤丑次郎	1923年	25000円
9	狩野文庫（洋書）購入寄附	林鶴一	1924年	20000円
10	海産哺乳動物の研究	井上嘉都治 岡崎克己他	1924～1927年	18422円
11	糖尿病の研究	熊谷岱蔵 佐武安次郎	1923～1927年	17660円
11	結核病の病原菌的分類に関する研究	熊谷岱蔵 佐武安次郎	1933～1937年	17660円



(6) 現在につながる研究の社会実装

18



磁性研究、鉄鋼研究、低温研究の系譜と成果は、現在の電動機や発電機、トランス、スピーカー、磁氣的記録装置に幅広く使われていくことに



マグネトロンの研究は電子レンジ、レーダー、人工衛星などに搭載される技術に



無線技術の研究はテレビ放送、レーダー、スマートフォン、wifiの技術へ



狩野文庫、ヴント文庫など東北大学の至宝が集積され、漱石文庫の寄贈へ



車の両輪としての教育と研究

卓越した研究を通して、
未来を拓く人材を育成

世界的に卓越した 基礎研究の推進



仙台を訪れることに特別の興味があった。東北大学が価値ある研究をしていることに敬意を表する～アインシュタイン, 1922

女子学生への門戸開放



黒田 チカ 丹下 ウメ 牧田 らく

専門学校・師範学校への 門戸開放



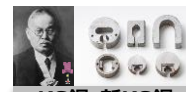
茅 誠司 松前 重義

留学生への 門戸開放

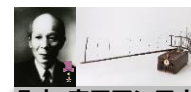


魯迅 陳 建功 蘇 歩青

独創的研究成果に基づく イノベーションの創出



KS鋼・新KS鋼



八木・宇田アンテナ



半導体レーザー



質量分析技術



胃がん集団検診



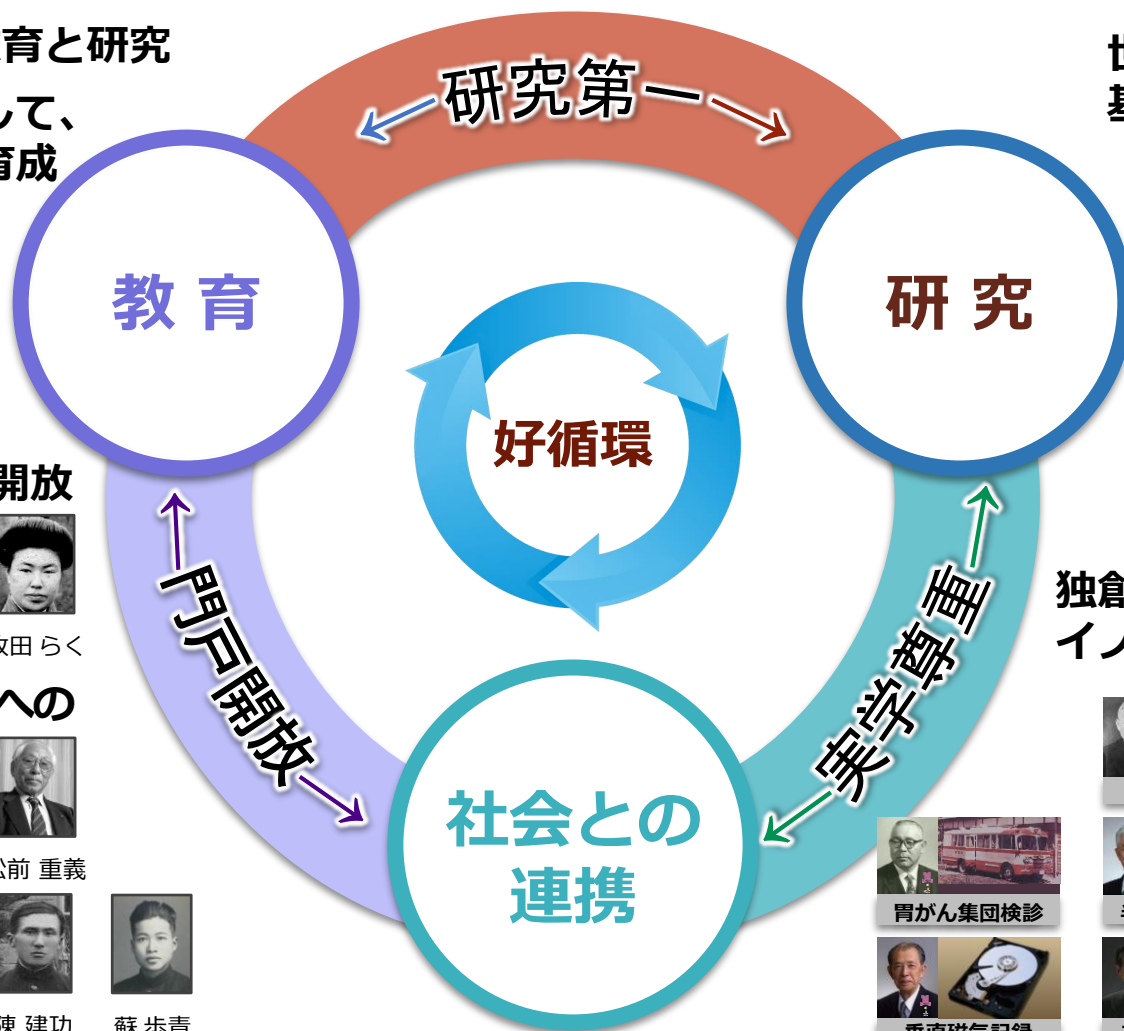
フラッシュメモリ



コンパクト



垂直磁気記録



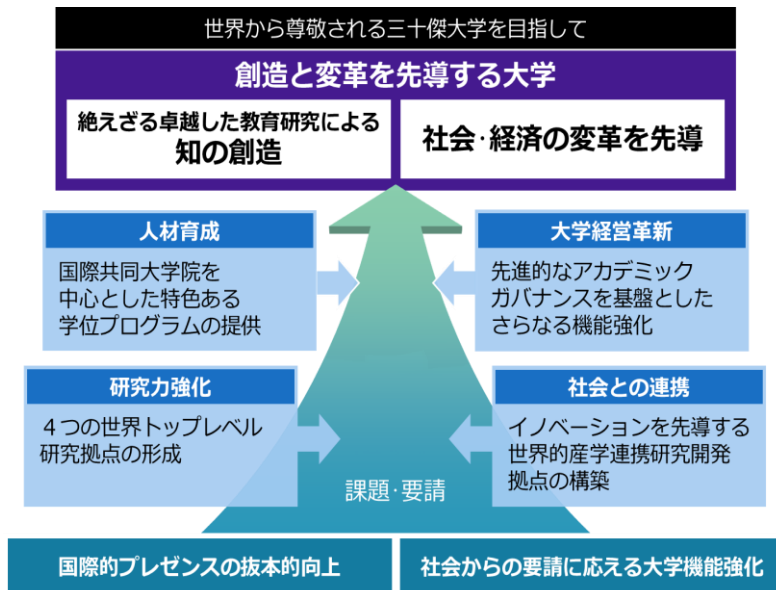
民間および自治体等からの
多額の寄附により創設・発展



(6) 現在につながる研究の社会実装

20

2017年6月、**東北大学**、東京大学、京都大学の**3大学**が、先行して指定国立大学法人の指定



材料科学



スピントロニクス



未来型医療



災害科学





(6) 現在につながる研究の社会実装

21

災害研究の系譜



中村左衛門太郎
地震学の泰斗として
百年前の関東大
震災、昭和三陸津
波の調査

本多光太郎
東北の冷害・雪害
対応のため農学研
究所を設置



災害復興新生研究機構、復興アクション

感染症研究の伝統



熊谷岱蔵
結核研究のための抗酸
菌病研究所（現在の加
齢医学研究所）の設置

石田名香雄
iPS細胞への遺伝子導
入に用いられる「セン
ダイウイルス」の発見



グリーン未来創造機構

世界的視点からの人文社会科学



阿部次郎
ベストセラー「三太郎
の日記」の作者であり、
日本と西欧の比較文化
研究のバイオニア

小田滋
「海洋法の小田」とし
て国際司法裁判所判事
記録最長27年在任



感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点



日本学国際共同大学院、支倉リーグ

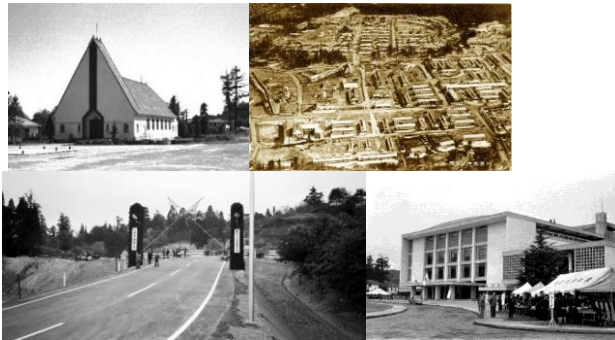




(7) 社会と共にあるキャンパス

22

- ▶ 東北大学川内キャンパス
- ▶ 仙台城→第二師団→米軍キャンプを経て1957年返還
- ▶ 敷地利用をめぐるには各方面から様々な検討・協議
- ▶ 最終的に東北大学と宮城県・仙台市の三者でこの場所を仙台の新しい文教ゾーンとして整備していくことに・・・開かれたキャンパスがコンセプト





2011.3 震災発生

- ①東北大学自身の復旧
- ②多様な復興支援プロジェクト

2012年

災害科学国際研究所設置

メディカルメガバンク機構設置

→災害復興新生研究機構の発足へ



2014年

高度教養教育・学生支援機構設置

青葉山新キャンパス

- ▶ 2015年、地下鉄東西線
- ▶ 2016年、農学部移転
- ▶ 2018年、ユニバーシティ・ハウス完成
- ▶ 2020年、革新材料創成センター



次世代放射光施設（2023年運用開始予定）





片平キャンパスの登録有形文化財
→2021年には13件、国立大学最多に





1907 東北帝国大学創立

1911 理科大学 *開設 *数学科・物理学科・化学科を設置。のちに理学部へ

1915 医科大学 *開設 *のちに歯学部、薬学部が分立

1919 工学部設置

1922 法文学部 *の設置により、総合大学へ

*のちに文学部、法学部、経済学部の3学部へ分立

1947 農学部設置、10月東北大学に改称

1949 教育学部設置

2007 創立 100 周年

2013 女子学生入学 100 周年

2022



東北大学創立 115 周年
総合大学 100 周年